



イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 548 回 『東北に笑顔の華を咲かせましょう』を見た！

2013.10.27

第 22 回 FNS ドキュメンタリー大賞ノミネート作品『東北に笑顔の華を咲かせましょう～日向ひよっこ踊りの絆～』(制作:テレビ宮崎)を見た。

平成 25 年 3 月 11 日、東日本大震災から丸 2 年、3 年目の気仙沼市と被災地訪問を決めた「日向橋ひよっこ踊り保存会」上山会長と高橋副会長。果たして、東北に日向ひよっこ踊りで笑顔の華を咲かせることができるか。そして、復興は順調なのか？日向ひよっこ踊り交流で深めてきた絆があるからこそ描ける被災地の実態をドキュメントで紹介する番組だった。

(10 月 26 日(土)27 時 3 分～27 時 58 分放映)



宮崎県日向市から発信した「日向ひよっこ夏祭り」は、昭和 59 年に始まった新しいものではあるが、毎年数万の観客を集め、2,000 人近い踊り手が市内を練り歩く、同市最大かつ宮崎県を代表するお祭りである。踊る人も見る人もみんな肩の力を抜いて、笑いと癒しのリラックス

感覚でたのしい時間を共有できるユーモア溢れるその仕草は、喝采の笑いを引き起こす。宮崎県日向市は、東日本大震災被災者を励ますため、いよいよ「日向ひよっこ踊りを東北に届け隊」の派遣となったが…その訪問で見たものは、想像以上に衝撃的な震災現場の惨状だった。元々一行には、こんな悲惨な環境の中で、みだらでひょうきんな日向ひよっこ踊りを披露していいものなのか。不謹慎と批判されるのではないか、という大きな不安があった。しかし訪問先で、笑いの輪が広がった。「日向ひよっこ踊り」で、震災後笑いが無くなっていた被災地の皆さんに笑顔を届けることができたのである。

人と人の偶然の出会いから始まった交流を通し、震災からの復興の現状と現実の問題を伝えるドキュメンタリー。「東北で笑顔の華を咲かせてほしい」そんな一心で何度も気仙沼を訪問し、日向ひよっこ踊り交流で深めてきた絆が無ければ描けない、被災地の実態を取材したドキュメンタリーである。

番組ディレクター・西田博文氏(テレビ宮崎 報道制作局制作部)のコメントである。

「…略…“全く反応がなかったら、場違いだったら、”と訪問団同様不安な気持ちでした。しかし、笑いが起こった瞬間、今度は感動の涙を流しながらの取材でした。悲しい涙、感動の涙、笑いの涙、人生でめったに味わうことのできない色々な涙を流しながらの取材でした…」

以上「http://www.fujitv.co.jp/b_hp/fnsaward/22th/13-426.html」より抜粋

久々に良心的番組に触れ、今すごく感激している。

僕の嫌いな、「チャランポランなフジテレビ」が(失礼)、こんな素晴らしい番組を提供してくれたことに、正直驚き、そして感謝している。～(正確にはテレビ宮崎)～

くだらない、どうでもいいバラエティを削ってでも、一人でも多くの人に見てもらいたい、フジテレビの良識に訴えて、FNS 用 PR になってしまったコラムを閉じたいと思う。 m(_)m